

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	第2回西脇市総合計画審議会
開催日時	平成29年10月13日（金） 午後1時30分～午後3時30分
開催場所	西脇市役所（議会棟）2階 特別会議室
出席委員の 氏名又は人数	15名
欠席委員の 氏名又は人数	3名
出席職員の職・ 氏名又は人数	事務局4名
公開・非公開 の別	公開
非公開の理由	
傍聴人の数	0名
議題又は 協議事項	1 現在の取組状況について 2 中学生・高校生アンケートの結果概要について 3 市民意向調査の結果概要について 4 西脇市総合計画策定の背景について
会議の記録（概要）	
発言者	
事務局	<開会> 本日は、大変ご多用のところ、ご出席をいただき感謝申し上げます。
会長	<あいさつ> 第1回審議会から時間が経過したが、この間、本日のテーマである各種意識調査等の実施・とりまとめに尽力されていたことと思う。 近々国政選挙があり、西脇市では市長選挙・市議会議員選挙もある。選挙は人と政策を選ぶものであり、総合計画にも影響する。しかし、国の動向などに左右されるのは問題である。地方自治体の計画は、地域の状況を把握し、実のあるものにする必要がある。本日は現状に関わる様々な

	<p>調査の結果について報告してもらい、課題やまちが目指すべき方向を議論いただきたい。</p> <p>なお、会議は出席委員16名で、西脇市総合計画審議会条例第5条第3項の規定による定足数を満たしており、会議が成立していることを確認する。</p>
委員	<p>&lt;自己紹介&gt; 前回欠席委員から自己紹介（所属、会議への参画に当たっての思い）</p>
事務局	<p>&lt;現在の取組状況について&gt; 会議資料（P6～P7）に基づき事務局から説明  （質疑等はなし）</p>
事務局	<p>&lt;中学生・高校生アンケートの結果概要について&gt; 資料1に基づき事務局から説明</p>
会長	<p>ある程度、予想に近い結果ともいえるが、興味深い内容でもある。大学などで学生に行うアンケートでも結果は似たところがあり、理解できる。</p>
委員	<p>（P4）スクリーンではカラーだが、手持ち資料では色分けがされておらず、見づらく感じる。</p>
事務局	<p>該当頁はカラーで出力し、後日送付する。</p>
委員	<p>（P11）行政が事前に想定していたものと実際の結果で、差異がみられた部分はあったか。</p>
事務局	<p>地方創生の取組においても若者の意見を聞いており、都市化を望んでいることや公共交通、市街地のにぎわい等への期待が高いことは想定内であった。一方、観光の要素が強く出ていることは興味深い。</p> <p>満足度については、地域とのつながりの分野や生徒たちに関わる教育・子育て等の分野で高い評価が得られており、うれしい結果である。</p> <p>一方、満足・不満足のどちらにも振れていない中央に評価が固まっている項目については、行政活動が高校生にあ</p>

	<p>まり伝わっていないことが要因であると考えており、課題であると捉えている。</p>
<p>委員</p>	<p>公共交通に若者が不安をもっているようだが、それは漠然としたものなのか、それとも何か具体的なものを指しているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>公共交通に関するアンケートなども実施したことがある。市内に在住する生徒の場合は、通学では主に時間の制約が少ない自転車を使っており、市内の移動に関して公共交通のニーズはそこまで高くないと捉えている。アンケートの自由意見などもみても、いかに神戸などの都会に便利に行けるか、という部分でニーズが強い。</p>
	<p>&lt; 市民意向調査の結果概要について &gt; 資料 2 に基づき事務局から説明</p>
<p>会長</p>	<p>( P 6 ) 満足度・重要度の散布図は興味深い。現状や課題を考える上で大切である。</p>
<p>委員</p>	<p>市民自治は重要度・満足度とも低い。これは現在の地域活動や市民自治が市民の中でどのように捉えられているということか。重要度が低いということは、今後、力を入れてなくてもよい、あるいはもう十分によくできていると考えているのか。</p>
<p>事務局</p>	<p>満足度は中位に位置しており、平均的である。 今後の重要度が低いということは、市民参画などの重要性や必要性は感じていても、それを自分自身のこととして感じられていない市民が多いということではないか。コミュニティ意識の希薄化、独居化、核家族化などでコミュニティの維持・継続が困難になる中、必要性などを認識してもらうことが重要だと考えている。</p>
<p>委員</p>	<p>地域活動や市民自治の考えが浸透していないと感じている。今やっていることよりも次元の高い活動を目指すものだという認識が、まだ十分に発信できていないということではないか。 各地で地域協議会が立ち上がりつつあり、これがさらに</p>

	<p>進めば市民の認識も変わってくるのではないかと期待している。</p>
委員	<p>アンケートの回収率が低下しているので、今後、上がるように頑張ってもらいたい。</p>
会長	<p>アンケートの回収率アップはなかなか難しい問題で、大学がやるとさらに下がる。調査の信頼性は、属性において実態と乖離が少ないので、回収率は低くても代表性はしっかりしていると思う。</p> <p>ただし、こうした調査に協力してもらえ、自分が協働意識の現れと考えると、回収率を上げることがもちろん望ましく、努力が必要だ。</p> <p>気になったのは、今後も必要不可欠な参画と協働であるが、P10でみると前回に比べて積極的な意見の比率が落ちていること。総合計画も協働で進めなければならないものであり、重く受け止めなければいけない。</p>
副会長	<p>転出したいという意見が多い30歳未満や30歳代の意見を個別に出すことで、高齢者と若者が求めるものの違いなどを明らかにできるとよい。中学生・高校生の暮らし・生活に関する認識とはまた異なるのではないかと。</p>
事務局	<p>今回は、全年代での結果にポイントを置いたが、定住意向の低い30、40歳代にターゲットを絞るなど、年代による傾向の違いを踏まえた施策を検討したい。年代別の満足度・重要度の散布図は作成する予定である。</p>
委員	<p>障害者福祉に関わる者としての感想になるが、障害者福祉の満足度が中位にあることを不思議に感じる。実際にサービスを受けている人に聞くと、評価はしているが全体としては不足している、という意見が多い。障害のある人は相対的に少なく、ピンと来ない部分があるのだろうが、今後、そのギャップをどうしていくか考えていきたい。</p> <p>重要度が高いという結果が出ていることはありがたい。</p>
会長	<p>実態と市民全体の意識とのギャップを再認識するための調査でもある。</p>

<p>委 員</p>	<p>自身が30歳代だった時のことを考えても、忙しくてアンケートに答える余裕はなく、無関心であった。60歳代になり、いろいろなことに関心が持てるようになった。</p> <p>現在でも親が活動に付き合えないからという理由で子ども会に入らない家庭もある。町内会やPTAでも役員を嫌がり、断る人も多い。結果として町内会でも役員が年長者ばかりということも多い。</p>
<p>会 長</p>	<p>ご意見はよくわかる。私も若い時に、地域活動に参加した記憶はなく、どこでも同じような状況がある。</p> <p>現状を認識し、課題を考える上で意識調査は貴重なデータである。特に満足度・重要度についてはある程度連続して調査を行うことで、データの意味がより高まると思う。</p> <p>&lt;西脇市総合計画策定の背景について&gt; 資料3に基づき事務局から説明</p>
<p>委 員</p>	<p>安全・安心は当然大切であるが、産業に対する期待も高い。西脇市においては全産業のうち、農業が占める割合も多いが、耕作をやめている農家も多く、その傾向は10年前に比べて強くなっている。農業の衰退は地域環境の荒廃やまちのイメージダウンにもつながる。</p> <p>北播磨で約30名の新規就農希望者がおり、積極的に市内に誘導したいが、生活できるかどうか重要であり、市全体で知恵を絞ることが必要だ。</p>
<p>会 長</p>	<p>重視する視点・方向性の中に農業の言及がない。</p>
<p>事務局</p>	<p>方向性を示すものであるため特出しはしていないが、「共発的な地域産業の活性化」の中には当然農業も含まれる。今後は担い手育成とともに、イチゴや黒田庄和牛など誇れる特産品を生かして稼げる農業、自立できる仕組みづくりを施策の中で明らかにしていきたい。</p>
<p>委 員</p>	<p>資料の記載内容は非常に良いことで反対することはないが、より具体的に掘り下げることが必要ではないか。</p> <p>例えば、各地区区長のなり手がいなくなっており、またすぐに辞められる。総論賛成、各論反対で、ボランティア</p>

	<p>は必要だがやる人は少ないのと同じく、区長は必要だが自分はやりたくないと思込みする人が多い。</p> <p>自治基本条例策定時に「参画や協働」の重要性は認識したが、地域の方が積極的に参画・協働しているかといえ、そう言い切れないのが現状ではないか。この資料でも「参画と協働」について記述されており、それは正しいと思うが、より掘り下げたものがほしいと感じる。</p> <p>また、社会福祉協議会には約50のボランティアグループが登録されているが、その中で、社協などもバックアップしながら独居老人の方に給食サービス等に取り組んでいる。</p> <p>しかし、メンバーの減少、60歳代中心の運営などで「やめたい」という意見もあり、お願いして何とか維持しているのが現状である。各団体の事情もあり無理はいえないが、なんとか取組を長続きさせ、広げていくことはできないか、と考えている。</p> <p>この資料はよくまとまっているが、具体的な内容などを質問されたときに応答できるように、より掘り下げていただきたいと感じる。</p>
<p>会 長</p>	<p>この資料に記載する視点・方向性はどれも必要なものだが、厳しくいえば西脇市でなくとも必要なものである。この下の政策や施策でどこまで具体化できるかがより重要である。大きな視点で目標設定するとこういう形で抽象的なものになるのはやむを得ないが、目標を実現するためにどう実効性を担保しつつ、計画に組み込んでいくかが問われる。</p>
<p>委 員</p>	<p>老人クラブ連合会でも役員のみ手がない状況で、寂しい思いがする。</p> <p>取組の方向性はよくまとまっている。我々の知恵と努力を組み入れ、より踏み込んだ内容になれば、市民の皆さんに協力していただけるものになると思う。</p> <p>資料作成に当たっては事務局で大変努力されていると感じるので、今後も尽力をお願いします。</p>
<p>委 員</p>	<p>アンケートをみて、幅広い分野について考えていく必要があると感じた。その中で、安全・安心が最も重要と考えられている。こうした分野は充実している方だと感じて</p>

	<p>いるが、さらに期待されているということで、保守的な印象を受ける。特化するような意見がもっと出てこなかったことは残念という気持ちがある。中学生アンケートで自然が好きという意見が多いことはうれしく感じた。</p>
<p>会 長</p>	<p>アンケート結果では、行政が取り組めて成果が上がるような分野では満足度も重要度も高い一方、行政が取り組みにくいような分野では低い印象がある。そういう意味では、満足度、重要度が低いからといって、行政あるいは市民が取組を強化する、というのも現実的には難しい部分もあると感じる。</p>
<p>委 員</p>	<p>安全・安心の分野であるが、平成16年に水害があり、それを契機に河川改修等が進んだ。現状では安心できる状態に達していると思う。</p> <p>「生涯を通じていきいきと活躍する」という課題においては、高齢者でも子どもの見守りボランティアに取り組むことなどは素晴らしいこと。今後も計画などを策定し、医師会の協力を得ながら、医療・健康増進に向けた事業を積極的に進めていただければ、と思う。</p>
<p>委 員</p>	<p>最近、神姫バスと提携して高級バスツアーを実施されていたと思うが、市民アンケートの将来の姿として「観光・交流のまち」になることを期待する割合は2.7%と少なくなっている。実感として、年配の女性の購買力は大きいので、女性を対象とした四季折々のツアーなどがあると、ローストビーフやイチゴ、ストールなどの地域の特産品とつながりができ、共発的な地域産業の振興に繋がっていくのではないか。</p>
<p>副会長</p>	<p>市内に8地区があり、それぞれ区長がいる。そこにこうした計画をどのように伝え、実践するかが難しい。具体化の中であまりに区長に押しつけると辞めてしまうというようなこともある。</p> <p>歴史的な経緯があるからか、地区によって人的・経済的な支援にばらつきがあり、平準化が必要ではないかと思う。働いている人が多い中、どのようにリーダーを育てるかが課題である。例えばリーダー育成のための研修などを実施しないと、区長任せ、委員任せになってしまう。やっ</p>

	<p>る人は本当に頑張っているのであるが。</p> <p>満足度・重要度の散布図で、一番の問題は市民自治・地域自治である。これが実行できればほとんどの問題は解決できる。区長として研修なども受けているが、市民にその重要性などを伝えることが難しく、行政と区長、市民をつなぐ仕組み、施策が必要であると感じている。いい知恵があれば教えていただきたい。</p>
<p>会 長</p>	<p>参画・協働は難しく、しかもそれを推進する条件・環境（コミュニティなど）が崩れつつある。このような状況には危機感を持たざるを得ず、計画策定においても重要なポイントになる。</p>
<p>副会長</p>	<p>副会長の指摘は非常に重要である。地域自治や行政経営などの分野で、重視する視点、方向性として人材育成を強調するようなことがあってもよいと思う。それが計画の掘り下げに繋がっていくのではないか。「市民参画と行政との協働」に連帯や分かち合いといった言葉を加えていく、表現の工夫が必要であるかもしれない。</p> <p>全体としては、基本構想はビジョンであるから本案の方向性でよいと思うが、一つひとつをより一層深めていくことが重要ではないかと思う。</p>
<p>会 長</p>	<p>全体として方向性には異論がなかった。ただし、個々の項目について、具体化のための目標や手段などに関しては、今後十分に検討していく必要がある。</p> <p>現行の総合計画でも、市民参画と協働、市民自治を柱としてまちづくりが進められてきたが、今後もその展開が重要であるということについては、認識を共有できたのではないか。一方で、より実効性のある形で進めること、実践における難しさや条件の悪化などを踏まえて具体的な計画策定を進めてほしい、という意見であったと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>&lt;その他&gt;</p> <p>参画と協働の大切さは、市民の皆さんに認識されているが、一方で個々の参画意識が低下していることを懸念しており、由々しき事態であると考えている。これに対する手立てについては、しっかり掘り下げて考えていかなければいけないと思う。</p>

<p>会 長</p>	<p>安全・安心についてもご意見をいただいたが、行政の使命として安全・安心な暮らしを守るということは非常に重要であると認識している。この視点も大切にしていきたい。</p> <p>中学生・高校生アンケートで期待されている都市化については難しい部分もあるが、元気なまちになってほしい、元気なまちをつくりたいという思いの裏返しでもあると思う。このような視点も盛り込んでいきたい。</p> <p>&lt; 次回日程 &gt;        次回日程 平成29年12月1日（金）10：00～        ※開催場所についてはおって連絡</p> <p>今回は現状・課題について自由に意見交換をしていただいた。以上で会議を終了したい。積極的な発言に感謝申し上げます。</p>
<p>問合せ先</p>	<p>西脇市都市経営部次世代創生課        TEL 0795-22-3111 / FAX 0795-22-1014</p>